

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年5月1日
【計算期間】	第8期(自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)
【発行者名】	スターアジア不動産投資法人
【代表者の役職氏名】	執行役員 加藤 篤志
【本店の所在の場所】	東京都港区愛宕二丁目5番1号 愛宕グリーンヒルズMORIタワー18階
【事務連絡者氏名】	スターアジア投資顧問株式会社 取締役兼財務管理部長 菅野 顕子
【連絡場所】	東京都港区愛宕二丁目5番1号 愛宕グリーンヒルズMORIタワー18階
【電話番号】	03-5425-1340
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2020年4月28日提出の有価証券報告書の記載事項のうち、「第一部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 2 投資方針 （1）投資方針 ③スターアジアグループについて （ア）スターアジアグループの概要」の記載の一部について、提出前の確認が不十分であったため、記載内容に誤記があることが、本投資法人の第8期に係る不動産投資信託証券の発行者等の運用体制等に関する報告書作成の過程で判明したことから、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

2【投資方針】

（1）【投資方針】

③【スターアジアグループについて】

（ア）【スターアジアグループの概要】

3【訂正箇所】

下線部_____は訂正部分を示しております。

第一部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

2【投資方針】

（1）【投資方針】

③【スターアジアグループについて】

（ア）【スターアジアグループの概要】

<訂正前>

（前略）

また、スターアジアグループに属するスターアジア・キャピタル・コープ・リミテッドは、投資ビークルを通じてライオンパートナーズ合同会社（以下「ライオンパートナーズ」といいます。）へ出資しており、ライオンパートナーズは本書の日付現在、さくら総合リークの投資口を16,896口（発行済み総投資口数の約5.1%）保有しています。当該投資口の保有は、少数投資主としての権利を活用して、さくら総合リークに対して投資主提案をすること等を目的としたものであり、ライオンパートナーズは、2019年5月に本投資法人の外部成長、ひいては本投資法人の時価総額拡大、投資口の流動性向上等を目的として、さくら総合リークの投資主に対して「さくら総合リーク投資法人とスターアジア不動産投資法人との合併に向けたご提案」を公表しました（詳細は下記「(カ)スターアジアグループによる新たな取組み～さくら総合リークの投資主に向けたさくら総合リークと本投資法人との合併に向けた提案～」をご参照ください。）。

（後略）

<訂正後>

（前略）

また、スターアジアグループに属するスターアジア・キャピタル・コープ・リミテッドは、投資ビークルを通じてライオンパートナーズ合同会社（以下「ライオンパートナーズ」といいます。）へ出資しており、ライオンパートナーズは本書の日付現在、さくら総合リークの投資口を23,558口（発行済み総投資口数の約7.1%）保有しています。当該投資口の保有は、少数投資主としての権利を活用して、さくら総合リークに対して投資主提案をすること等を目的としたものであり、ライオンパートナーズは、2019年5月に本投資法人の外部成長、ひいては本投資法人の時価総額拡大、投資口の流動性向上等を目的として、さくら総合リークの投資主に対して「さくら総合リーク投資法人とスターアジア不動産投資法人との合併に向けたご提案」を公表しました（詳細は下記「(カ)スターアジアグループによる新たな取組み～さくら総合リークの投資主に向けたさくら総合リークと本投資法人との合併に向けた提案～」をご参照ください。）。

（後略）